■特長

この時計は、標準電波を受信して正確な時刻を表示する電波修正機能を持っています。

●電波修正機能	毎日、自動的に標準電波（JJY）を受信し、時刻を修正します。 強制受信も可能です。
●日付表示機能	標準電波から解読した「日」を表示します。 時差修正に連動した日付を表示できます。
●非受信回数表示機能	受信できなかった回数（日数）が表示され、受信結果が分かります。 安定的な受信ができている場合「0」を表示します。 最大「9」まで計数表示します。
●時差修正機能	時差のある地域へ旅行する際に、時差の設定ができます

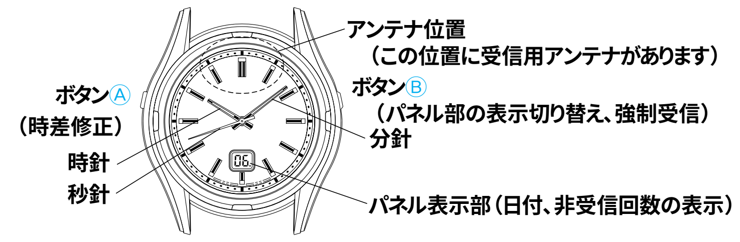
＜受信周波数について＞
この商品は東日本用（40kHz）と西日本用（60kHz）との受信周波数の仕様違いで2種類用意されています。お買い上げの商品がどちらの仕様かをご理解の上、ご使用いただきますようお願い申し上げます。受信周波数は、ケースの裏ぶた等に表示されている場合と、ケースの番号（機種）から確認できる方法とがあります。
例）裏ぶたに4桁 4桁の表示があります。最初の4桁が機種です。
　機種：P114（40kHz）、機種：P116（60kHz）
　例）「P114-0AA0」との表示があったら、「40kHz」の仕様と分かります。

■製品仕様

1. 水晶振動数 ・・・・ 32.768Hz（Hz＝1秒間の振動数）
2. 精度・・・・・・・・・・・平均月差±20秒
（電波受信による時刻修正が行われない場合、かつ気温5℃～35℃において腕につけた場合）
3. 作動温度範囲・・・－10℃～＋60℃
4. 駆動方式 ・・・・・・ステップモーター式（時・分針）：1分運針
〃　（秒針）：1秒運針
5. 表示体 ・・・・・・・・ FE（電界効果）型ネマチック液晶
6. 使用電池 ・・・・・・小型リチウム電池SB－T17 1個
7. 電池寿命 ・・・・・・約2年
8. 電波受信機能 ・・自動受信（AM2:30～AM6:30 受信状況によって受信回数は異なる）
※受信から次の受信まではクオーツの精度で動きます。強制受信機能付き。
9. 電子回路 ・・・・・・発振、分周、駆動、受信回路IC　2個

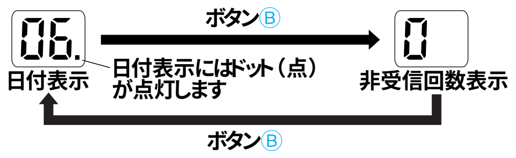
※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

■各部の名称とはたらき


アンテナ位置
（この位置に受信用アンテナがあります）
ボタンⒶ
（時差修正）
ボタンⒷ
（パネル部の表示切り替え、強制受信）
分針
時針
秒針
パネル表示部（日付、非受信回数の表示）
06.

※ボタンⒶは誤入力防止のため、ケースに埋め込まれています。操作のためには先が細いものをご使用ください。
※この時計の分針は、1分に1回動く仕様となっています。徐々に動く分針とは異なり、秒針が0秒の位置にくると同時に、分針は次の「分」の位置に進みますので、ご注意ください。
※時計の構造上、秒針の先端が文字板の目盛りとわずかに一致しない場合がありますが、精度には影響ございません。

●ボタンⒷを押すと ➡ の順序でパネル表示部が切り替わります。

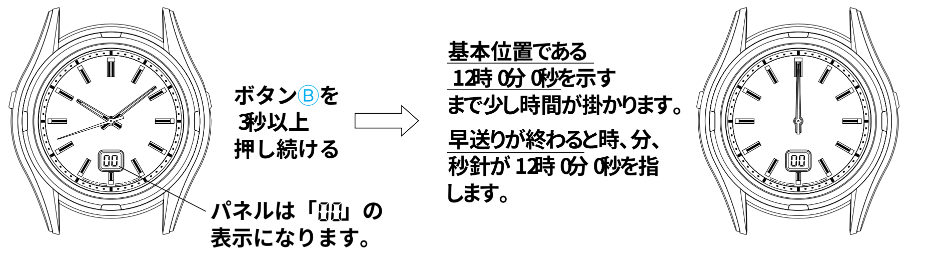


※非受信回数表示は約3秒後、日付表示に切り替わります。

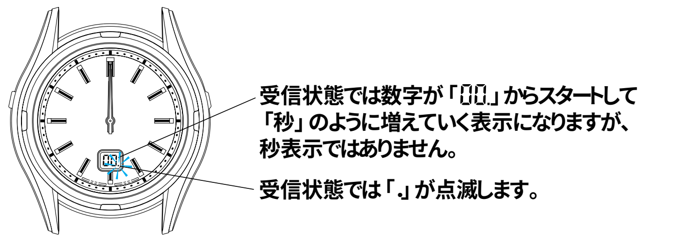
■ご使用方法（時刻の合わせかた）

この時計は標準電波を受信して正確な時刻を表示することができます。ご購入後お使いになる前に、標準電波を受信してからご使用することをお勧めします。

●はじめてご使用される場合（強制受信のしかた）
①ボタンⒷを3秒以上押し続けてください。時分秒針が早送りをはじます。

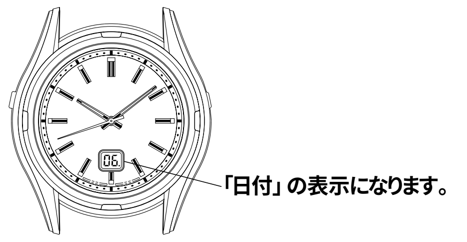


②早送りが終わると、自動的に受信状態に切り替わります。
電波の受信しやすい場所に置いてください。（例、窓際で他の電子機器の影響のない場所）


受信状態では数字が「00」からスタートして
「秒」のように増えていく表示になりますが、
秒表示ではありません。
受信状態では「.」が点滅します。

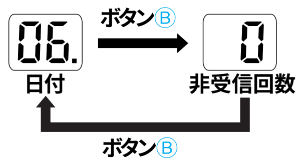
※通常受信には約2分～約9分かかります。（環境によって異なります。）
※受信しやすい環境については、「■電波（修正）時計とは」をご参照ください。
※受信状態でボタンⒷを押すと、受信を強制終了しますので、ご注意ください。

③受信が完了すると、針が早送りして正確な時刻を示します。



※電波が正しく受信できない環境にある場合、一定時間受信を継続した後自動的に受信を中止します。受信継続時間は環境等によって異なりますが、約9分です。
受信を中止した場合、受信前の時刻に基づく表示が始まります。
（→「■電波（修正）時計とは」を参照ください）

④ボタンⒷを押して、パネルの表示内容を確認してください。
日付が正しく表示されることと、非受信回数が「0」になっていることを確認してください。

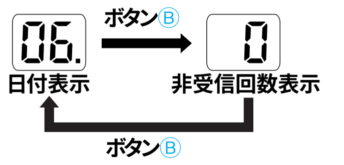


非受信回数が「0」以外が表示される場合は、新たな受信ができなかったことになります。
※非受信回数表示は約3秒後、日付表示に切り替わります。

●自動受信について
・標準電波が受信しやすいとされる時間帯（AM2:30～AM6:30）に自動的に受信します。
・自動受信中は、秒針が止まりますが時分針は動き続けます。
※自動受信の時間帯は、時計を受信しやすい場所に置いてください。
→「■電波（修正）時計とは」を参照ください。

●非受信回数について
・自動受信の状態を非受信回数で確認できます。
・自動受信時間に時計が置かれている場所の受信結果がわかります。

ボタンⒷを押して、パネル部に表示される非受信回数を確認します。



※非受信回数表示は約3秒後、日付表示に切り替わります。

非受信回数	受信状況	その後していただきたいこと
0	受信が良好にできている	今の環境でご使用ください。（使用または保管場所）
1～9	この回数（日数）自動受信ができていません。 例）非受信回数「2」の場合 2日連続で自動受信ができなかった。	使用環境を変えてみてください。その後非受信回数を確認してみましょう。必要に応じ、強制受信することをお勧めします。 （→「●はじめてご使用される場合（強制受信のしかた）を参照）

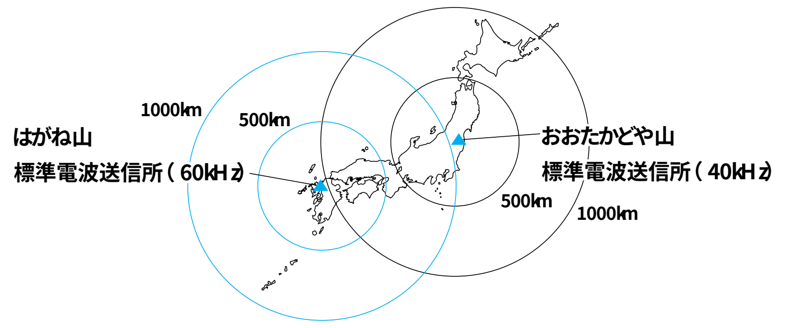
●非受信回数が多くなった場合
・強制的に標準電波を受信することをお勧めします。
（→「●はじめてご使用される場合（強制受信のしかた）を参照）

■電波（修正）時計とは

●電波修正機能とは
・正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する機能です。

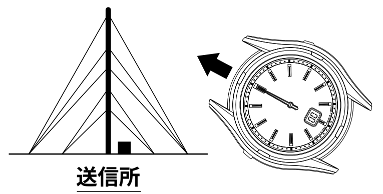
●標準電波（JJY）とは
・通信総合研究所が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2箇所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。
標準信号の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

●電波受信について
・各々の送信所からの受信範囲の目安は、条件にも異なりますがおおむね1,000kmです。個別の状況により異なりますが、東日本地域は40kHz（福島送信所）、西日本地区は60kHz（九州送信所：福岡と佐賀の県境）の電波が受信しやすいと想定されます。
・この商品は40kHz受信用と60kHz受信用とがあります。ご使用におかれましては、お客様に適する周波数をご確認ください。
・ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物などの影響によって、受信できない場合があります。



⚠ 注意
・電波障害等により、誤った受信をした際は、誤った時刻を表示する場合があります。また、受信場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、受信を行なう場所を変えてお使いください。
・受信できない場合は、クオーツの精度で動きます。
・設備のメンテナンスや落雷の影響などにより停波することがあります。
停波に関する情報は、通信総合研究所（CRL）のホームページ（http://jjy.crl.go.jp）をご覧ください。

●ご使用場所
本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。受信の際はできるだけ電波を受けやすい窓際などに置いてください。また、電波ノイズを発生させるものの近くでのご使用は避けてください。



12時位置のアンテナ部を送信所のある方向に向けるとより良い受信環境になります。
自動受信時間帯（AM2:30～AM6:30）に時計を置く場所は受信しやすい環境を選びましょう!

その他、次のような環境下では正確に受信できないことがあります。
a) ビルの中、ビルの谷間、地下。
b) 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
c) テレビ、冷蔵庫、エアコン、携帯電話、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
d) 工事現場、空港の近く、軍事基地や交通量の多い場所など、電波障害の起きる場所。
e) 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
f) スチール机等の金属製の家具の上や近く。

■時差修正について

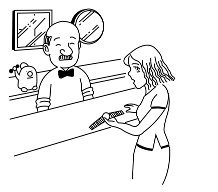
・日本時間と時差のある地域へ行った際、現地の時刻に合わせることができます。
・時差修正すると時差に応じた日付が表示されます。
①ボタンⒶを押すと、パネル表示部に「時」が表示されます。
現在の時刻の「時」だけを24時間制の数値で表示します。
（例）午後7時ならば、「19」と表示されます。

②さらにボタンⒶを押して、現地の時刻に合わせてください。
パネルの表示を見て、24時間制の「時」で合わせます。
ボタンⒶを押すごとの「＋1時間」になります。

③時分針の早送りが終わると、時差修正が完了します。
※時差修正後、表示される日付はその時差に連動した日付になります。
※時差設定後は、受信（自動および強制）を行いませんので、時差が不要になった場合は、ボタンⒶを3秒以上押し続け、日本時間に戻してください。

④ボタンⒶを3秒以上押し続けると日本時間（時差±0）に戻ります。

■電池について



（1）電池寿命
この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約2年間作動します。ただし、電波受信の困難な環境でお使いいただいた場合、または強制受信を頻繁に行われた場合は、上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。

（2）最初の電池
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。

（3）電池寿命切れ予告機能
秒針が12時位置に留まり、パネル表示部に日付または秒表示と「Lo」の交互表示になったら、電池寿命切れが間近であることを示しています。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。電池寿命切れ予告機能がはたらくと、強制受信ができなくなります。

（4）電池交換
①電池交換は、お買い上げ店で「専用電池」とご指定の上、ご用命ください。
②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
③電池交換は、保証期間内でも有料となります。
④電池交換などで裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。特に10気圧以上のものは検査が必要です。

⚠ 警告
1. お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
2. やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はただちに幼児の手が届かないところに保管してください。
3. 万一飲み込んだ場合は、体に害があるため直ちに医師とご相談ください。

⚠ 注意
1. 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
2. この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
3. 「常温（5℃～35℃）からはずれた温度」下で長時間放置すると電池寿命が短くなることがあります。

■電池交換後のお願い（システムリセット）

・電池交換後または、万一異常な表示になった場合、以下の操作を行ってください。
時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。

●システムリセットとその後のご使用方法について
①ボタンⒶとⒷを同時に3秒以上押し続ける。
パネル部の表示が消えて、その後「00」の表示になります。
時分秒針が早送りし、12時0分0秒になります。
②時分秒針が12時0分0秒になると、受信が始まりますので、受信しやすい場所に置いてください。
以降の詳しい説明は「■ご使用方法　●はじめてご使用される場合の②～」を参照ください。

●標準電波を受信できない地域で電池交換した場合
・40kHzの商品を福岡で、また60kHzの商品を札幌で電池交換した場合などは、標準電波を受信できない状況が想定されます。
・時刻を手動で合わせて使用する方法もあります。（下記参照）

手動で時刻を合わせる方法
①ボタンⒶとボタンⒷを同時に3秒以上押し続けます。
②時分秒針が早送りして12時0分0秒になったら、ボタンⒶを1回押します。
③さらにボタンⒶを押して時刻を合わせます。押し続けると、早く進みます。
時針と分針（パネル表示部の分も参照）を見て時刻を合わせます。
※時刻合わせ後、パネル表示部には非受信回数「1」が常時表示されます。
※ボタンⒶを押し続けた際の針の動きは不連続な動きですが異常ではありません。

この時計は、標準電波（JJY）を受信できる環境での使用目的に作られております。手動による時刻合わせでのご使用はあくまでも暫定的なご使用としてお考えください。日付表示ができない等機能上の不具合もありますので、標準電波を受信して使用されることをお勧めします。
※手動で時刻を合わせた後、標準電波を受信できる環境下で自動的に受信します。

■こんな時には、

現　象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。	電池容量がなくなった。	お早めに電池交換をお買上げ店またはセイコー取扱店にご依頼ください。
パネル表示部に「Lo」表示が出ている。	電池寿命切れが間近です。	
受信できない。 非受信回数が増えている。	受信中の時計の向きが送信所の方向を向いていない。	受信中の時計の向きを変えてみてください。 →詳しくは「■電波（修正）時計とは」を参照
	標準電波（JJY）送信所の都合で停波している。	停波に関する情報は、通信総合研究所（CRL）のホームページ（http://jjy.crl.go.jp）をご覧ください。
	自動受信時間帯に時計を置いている場所の電波が弱い、または電波の届かない環境下にある。標準電波を受信できていない。	非受信回数を確認し増えている場合は、標準電波をより受信しやすい環境で強制受信してください。 また、自動受信時間帯（AM2:30～AM6:30）に時計を置いている場所を変えてみましょう。
時計が一時的に進む／遅れる日付がずれている。	ノイズ等の影響で間違った時刻・日付を受信した。（誤受信）	ノイズを発生するものから遠ざけ、標準電波をより受信しやすい環境で強制受信してください。
	暑いところ、または寒いところに放置した。	常温に戻れば元の精度に戻ります。必要に応じて強制受信をしてください。 元に戻らない場合は、お買上げ店にご相談ください。
	磁気を発生するもののそばに置いた。 磁気の影響で針位置がずれている。	磁気から遠ざけてください。強制受信をすることによって針位置は自動的に修正されます。 元に戻らない場合は、お買上げ店にご相談ください。
	落したり強くぶつけたりまたは激しいスポーツをした。 強い振動が加えられた。	強制受信をすることによって針位置は自動的に修正されます。元に戻らない場合は、お買上げ店にご相談ください。
時刻が数時間単位でずれている。	時差修正が行われている。	時差の設定が不要の場合は、ボタンⒶを3秒以上押し続け、時差修正を元に戻してください。
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。
日付が表示されない。	電池交換やシステムリセット後、標準電波が受信できていない。	標準電波を受信できる場所で強制受信をしてください。
時差修正ができない。		

※その他の現象は、お買上げ店にご相談ください。

■使用上の注意とお手入れの方法

⚠ 注意

●日常のお手入れ
・ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
・時計をはずしたときには、柔らかい布などで汗や水分を拭き取ってください。汚れも取れ、ケース、バンド、およびパッキンの寿命がちがってきます。

金属バンド
・金属バンドは時々柔らかい歯ブラシなどを使い、石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。

皮革バンド
・革バンドは水分を吸い取るように軽く拭いてください。こするように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

軟質プラスチックバンド
・ウレタンバンドなど軟質プラスチックでできているバンドは、特に手入れの必要はありませんが、汚れがひどいときには石鹸水で洗ってください。化学製品ですので溶剤によって変質することがあります。通常数年のご使用で材質が硬化してきたり、色があせたりする場合がありますので、その際は新しいバンドに交換してください。

●非防水時計は、水（水道の水はね、雨、雪など）や多量の汗にご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合には吸湿性のよい布などで水分を拭きとってください。
●日常生活用強化防水時計は海水中などでの使用のあと、化学薬品類を使用せず、ためた真水で洗ってください。
●回転ベゼルつきの時計の場合、ベゼル下に汚れなどがたまり、回転が重くなったりしますので清潔にしてご使用ください。

⚠ 注意

●かぶれやアレルギーについて
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられますのは、
　1. 金属・皮革に対するアレルギー
　2. 時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し医師にご相談ください。

●保管について
・「-10℃～+60℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。
・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
・強い振動のあるところに放置しないでください。
・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、及びそれらを含有するもの－ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など－水銀、ヨウ素系消毒液など）
・温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

⚠ 注意

●防水性能
・時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。
・水分のついたままリュウズを回したり引き出したりしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。

時計の防水表示 上段：文字板 下段：裏ぶた	使用例 防水の基準	雨や洗顔など日常生活で予想される「水がかかる」程度	水に関係の深い仕事（農水産、園芸、食堂など）やスポーツ（水泳やヨット）で使用できる程度	空気ボンベを使用しない潜水（スキンダイビング）や入浴に使用できる程度	空気ボンベを使用する潜水（スキューバ潜水）に使用できる	ヘリウムガスを使用する潜水方式（飽和潜水）に使用できる
表示なし 表示なし	非防水	×	×	×	×	×
表示なし WATER RESIST	日常生活用防水（3気圧防水）	○	×	×	×	×
表示なし WATER RESIST WATER RESIST 5BAR のいずれか	日常生活用強化防水（5気圧防水）	○	○	×	×	×
表示なし WATER RESIST 10BAR のいずれか ●マークWATER RESIST または WATER RESIST 10BAR	日常生活用強化防水（10気圧防水）	○	○	○	×	×
表示なし WATER RESIST 20BAR のいずれか WATER RESIST 20BAR	日常生活用強化防水（20気圧防水）	○	○	○	×	×

●入浴について
・10気圧以上の防水の場合、時計をつけたまま入浴してもかまいませんが下記のことに注意して下さい。
・時計に、石けんやシャンプーがついた状態で、リュウズ操作やボタン操作を行わないでください。
（防水機能が維持できなくなることがあります）
・温水で時計が温まりますと、多少の進み、遅れを生ずることがあります。ただし、常温にもどれば精度はもとにもどります。

⚠ 警告
・日常生活用防水（3気圧）の時計は水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
・日常生活用強化防水（5気圧）の時計は、スキンダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
・日常生活用強化防水（10・20気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。

⚠ 注意
・提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって大切な衣類や手・首などを傷つけることがありますのでご注意ください。
・バンドの着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合もありますのでご注意ください。

●定期点検について
・ながくご愛用いただくために、２～３年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水分の侵入などの点検をお買い上げ店でご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。
・部品（電池）交換の時は、「純正部品（電池）」とご指定ください。電池が切れたまま長時間放置しますと漏液などで故障の原因となりますので早めに交換をご依頼ください。
・定期点検や電池交換の際にはパッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

■液晶パネルについて

この時計の〈液晶パネル〉は、7年を過ぎますとコントラストが低下したり数字が読みにくくなります。
お買い上げ店に交換をお申しつけください。有料にて申し受けます。

■補修用性能部品について

・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年間を基準としています。
正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。
（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）
・修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
・修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

■アフターサービスについて

・万一故障した場合には、お買い上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
・修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買い上げ店でうけたまわっております。なお、ご不明の点は「セイコーウオッチ株式会社お客様相談室・お客様相談係」にお問い合わせください。
・保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。